

妊娠・出産・子育てアンケート

持田ヘルスケア株式会社
財団法人母子衛生研究会

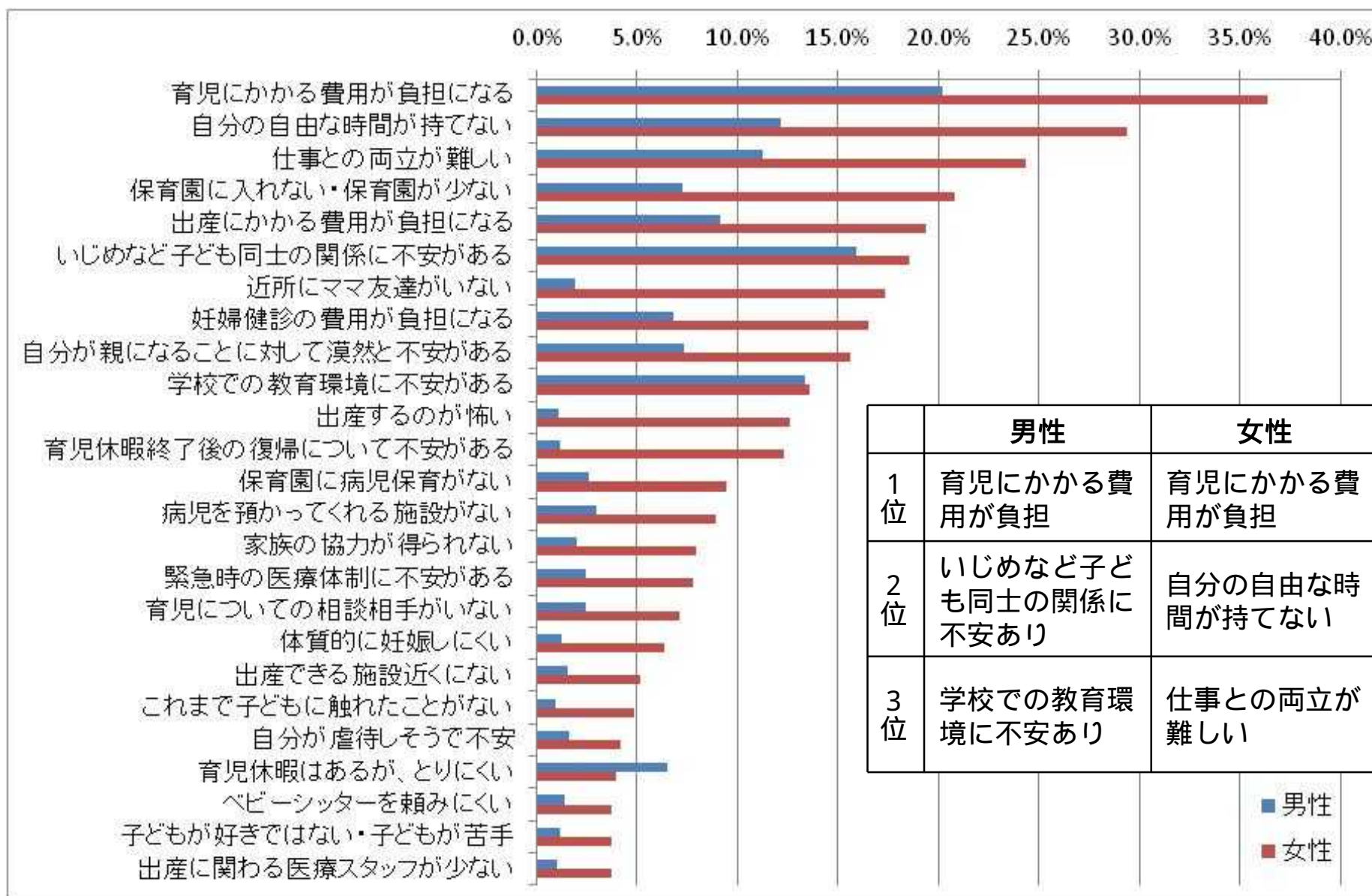
2010年12月16日

調査概要

- アンケート期間：2010年7月23日～11月18日
- 調査対象：インターネットで回答できる方
- 調査方法：インターネットによる調査
 - 回収件数 5427件
 - 有効回答数 5377件
- 回答者内訳

	女性				男性				総計
	産休・育休中	就業中	専業主婦	小計	産休・育休中	就業中	専業主夫	小計	
10代	3	19	8	30		12		12	42
20代	188	187	535	910	1	115	9	125	1035
30代	425	565	1403	2393	2	537	25	564	2957
40代	21	187	221	429		700	22	722	1151
50代～		17	13	30		158	4	162	182
総計	637	975	2180	3792	3	1522	60	1585	5377

不安なこと・困っていること_男女別



不安なこと・困っていること_男女別

	男性	女性	男女差
育児にかかる費用が負担になる	20.2%	36.3%	16.1%
自分の自由な時間が持てない	12.1%	29.4%	17.3%
仕事との両立が難しい	11.2%	24.4%	13.1%
保育園に入れない・保育園が少ない	7.3%	20.8%	13.6%
出産にかかる費用が負担になる	9.1%	19.4%	10.2%
いじめなど子ども同士の関係に不安がある	15.9%	18.6%	2.7%
近所にママ友達がいない	1.9%	17.3%	15.4%
妊婦健診の費用が負担になる	6.8%	16.5%	9.7%
自分が親になることに対して漠然と不安がある	7.3%	15.6%	8.3%
学校での教育環境に不安がある	13.4%	13.6%	0.2%
出産するのが怖い	1.1%	12.6%	11.5%
育児休暇終了後の復帰について不安がある	1.1%	12.3%	11.1%
保育園に病児保育がない	2.6%	9.4%	6.8%
病児を預かってくれる施設がない	3.0%	8.9%	6.0%
家族の協力が得られない	2.0%	7.9%	5.9%
緊急時の医療体制に不安がある	2.5%	7.8%	5.3%
育児についての相談相手がいない	2.5%	7.1%	4.7%
体質的に妊娠しにくい	1.3%	6.4%	5.1%
出産できる施設近くにない	1.6%	5.1%	3.6%
これまで子どもに触れたことがない	0.9%	4.8%	3.9%
自分が虐待しそうで不安	1.6%	4.2%	2.5%
育児休暇はあるが、とりにくい	6.5%	4.0%	-2.5%
ベビーシッターを頼みにくい	1.4%	3.7%	2.4%
子どもが好きではない・子どもが苦手	1.2%	3.7%	2.5%
出産に関わる医療スタッフが少ない	1.0%	3.7%	2.7%
育児休暇の制度がない	3.1%	3.5%	0.4%

➤男女ともに「育児にかかる費用が負担」が1位。国・行政が今後も補助・手当を考えていくべき

➤「自分の自由な時間」に対する男女の意識差がもっとも大きく、育児に対する時間的な負担感は女性の方が大きい。夫婦が共同して育児にあたる必要がある

➤「仕事との両立」については企業の育児支援なども必要と考える。

➤男性は「いじめなど子ども同士の関係」「教育環境」など、社会的な関係性についての不安が高い

➤男性の方が唯一数値が高いのは「育児休暇が取りにくい」。ここでも企業の努力が必要

➤産科医・出産施設などの不足については、それほど高くない

不安なこと・困っていること_男女別年代別(数表)

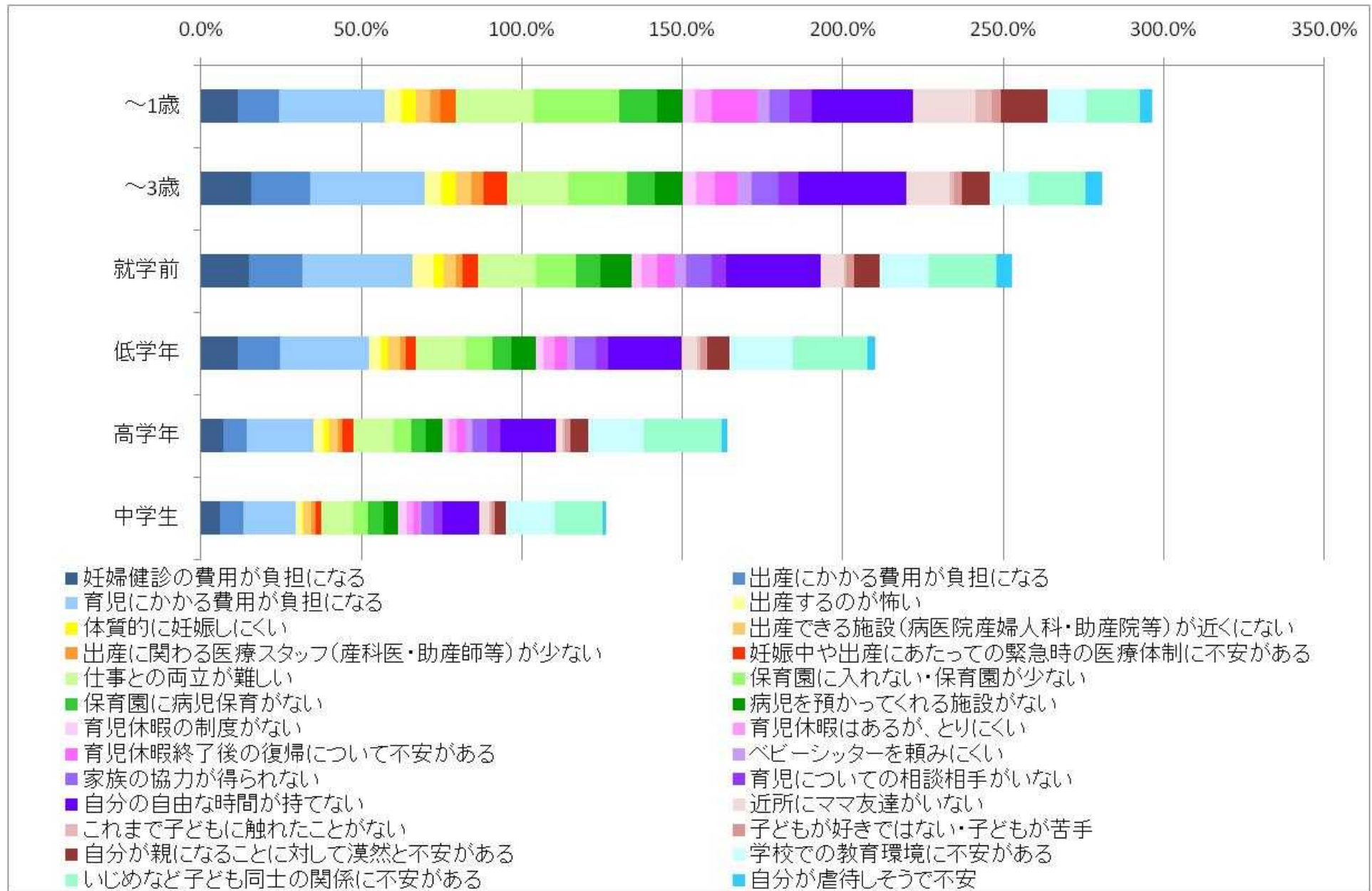
	女性			男性		
	20代	30代	40代	20代	30代	40代
妊婦健診の費用が負担になる	21.2%	16.1%	8.6%	17.6%	8.5%	4.6%
出産にかかる費用が負担になる	24.1%	19.0%	10.3%	22.4%	12.1%	5.7%
育児にかかる費用が負担になる	41.0%	37.5%	21.7%	37.6%	26.4%	14.3%
出産するのが怖い	18.7%	11.4%	6.3%	1.6%	1.2%	1.0%
体質的に妊娠しにくい	4.7%	7.2%	5.6%	0.8%	1.6%	1.1%
出産できる施設が近くにない	4.8%	5.2%	4.7%	2.4%	1.4%	1.7%
出産に関わる医療スタッフが少ない	3.8%	3.9%	2.1%	1.6%	1.4%	0.4%
妊娠・出産の緊急時の医療体制に不安	8.2%	7.9%	6.3%	9.6%	3.0%	1.1%
仕事との両立が難しい	24.2%	25.6%	18.6%	20.0%	15.1%	8.2%
保育園に入れない・保育園が少ない	24.5%	21.6%	10.5%	15.2%	10.6%	4.0%
保育園に病児保育がない	8.5%	10.1%	7.9%	1.6%	3.7%	2.2%
病児を預かってくれる施設がない	6.9%	9.6%	10.0%	3.2%	3.5%	2.4%
育児休暇の制度がない	2.9%	3.7%	3.5%	3.2%	4.8%	2.2%
育児休暇はあるが、とりにくい	3.6%	4.4%	2.3%	14.4%	9.4%	3.6%
育児休暇終了後の復帰について不安がある	13.6%	12.9%	7.0%	3.2%	1.4%	0.1%
ベビーシッターを頼みにくい	2.9%	4.3%	2.6%	1.6%	1.8%	1.1%
家族の協力が得られない	6.4%	8.3%	9.3%	4.0%	2.8%	1.1%
育児についての相談相手がいない	7.6%	7.2%	5.8%	3.2%	3.7%	1.7%
自分の自由な時間が持てない	29.2%	31.2%	21.9%	16.0%	17.7%	8.7%
近所にママ友達がいない	24.5%	16.4%	8.4%	4.8%	2.7%	1.0%
これまで子どもに触れたことがない	6.5%	4.8%	1.4%	1.6%	1.4%	0.6%
子どもが好きではない・子どもが苦手	3.6%	4.1%	1.9%	0.8%	1.8%	0.8%
自分が親になることに対して漠然と不安	20.8%	15.1%	7.7%	12.8%	9.4%	5.1%
学校での教育環境に不安がある	11.8%	13.2%	20.5%	8.8%	12.9%	14.4%
いじめなど子ども同士の関係に不安がある	16.5%	19.3%	19.8%	13.6%	15.1%	17.6%
自分が虐待しそうで不安	4.3%	4.6%	1.9%	1.6%	2.0%	1.4%
その他	4.0%	6.1%	7.9%	1.6%	6.6%	8.6%
平均	12.9%	12.2%	8.7%	8.3%	6.7%	4.2%

➤男女とも年代が若いほど、不安なこと・困っていることが多く、とくに費用面で年代間の差が大きくなる。年代が上がるにつれ、収入が増えるといったことも関係している

➤「仕事との両立」「自分の自由な時間」は女性の中でも20代・30代がとくに高い。「保育園に入れない」と関連も高い。

➤年代が上がるにつれ、子どもの年齢も上がるため、「いじめ」「教育環境」などの割合が高くなっている

不安なこと・困っていること_子ども年代別(%積上)

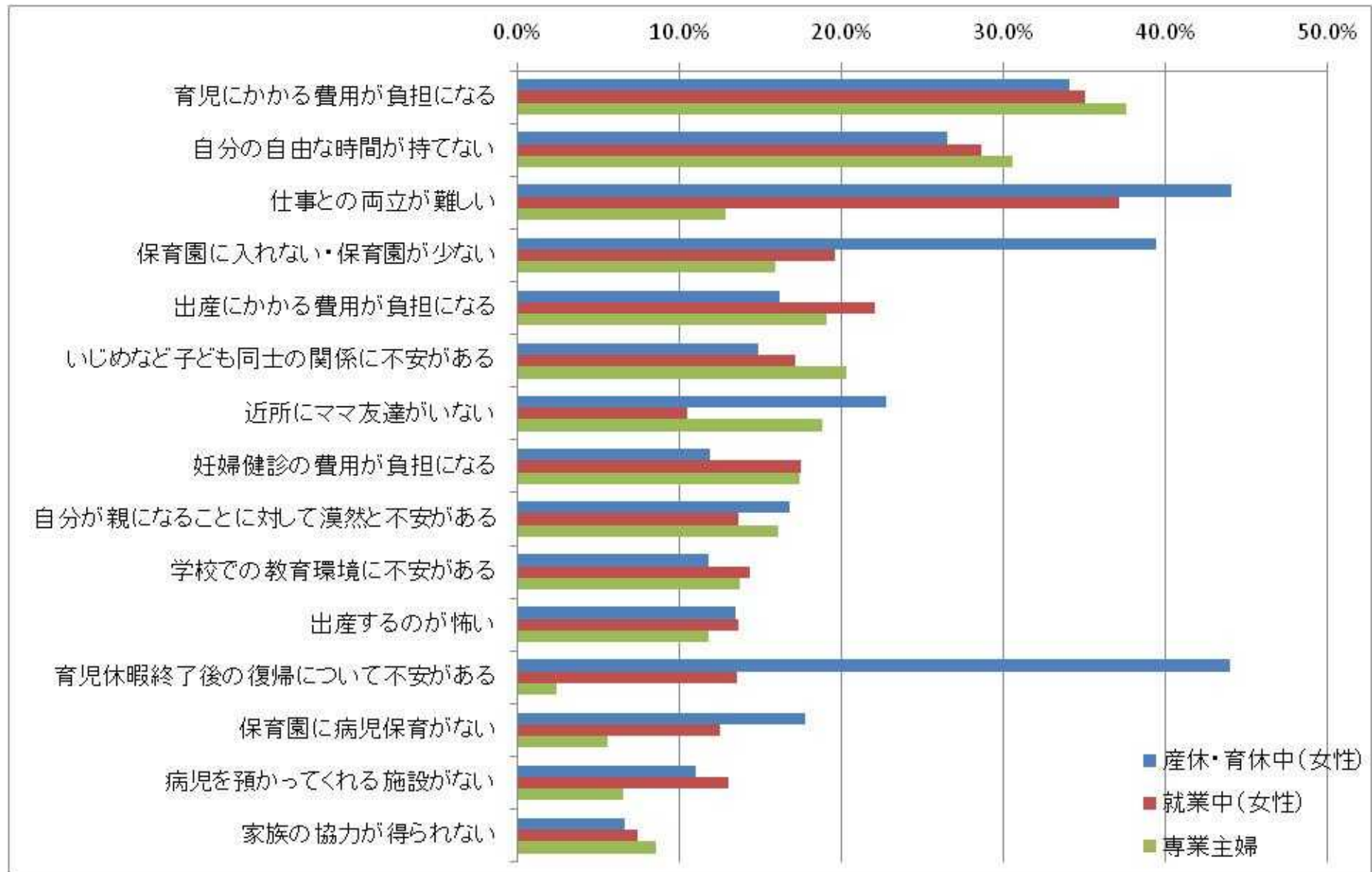


不安なこと・困っていること_子ども年代別(数表)

	～1歳	～3歳	就学前	低学年	高学年	中学生
妊婦健診の費用が負担になる	11.4%	15.7%	15.0%	11.6%	7.0%	6.0%
出産にかかる費用が負担になる	12.9%	18.4%	16.7%	13.2%	7.2%	7.3%
育児にかかる費用が負担になる	32.8%	35.6%	34.3%	27.5%	20.9%	16.3%
出産するのが怖い	5.4%	5.2%	6.3%	4.0%	2.9%	1.9%
体質的に妊娠しにくい	4.5%	4.4%	3.5%	2.0%	1.7%	0.5%
出産できる施設が近くにない	4.4%	5.0%	3.8%	3.8%	2.9%	2.4%
出産に関わる医療スタッフが少ない	3.0%	3.8%	2.1%	1.8%	1.5%	1.4%
妊娠・出産の緊急時の医療体制に不安	4.8%	7.1%	4.7%	3.2%	3.3%	1.7%
仕事との両立が難しい	24.6%	19.2%	17.9%	15.5%	12.3%	10.0%
保育園に入れない・保育園が少ない	26.5%	18.4%	12.5%	8.4%	5.8%	4.6%
保育園に病児保育がない	11.6%	8.5%	7.9%	5.9%	4.4%	4.8%
病児を預かってくれる施設がない	8.2%	8.9%	9.6%	7.6%	5.1%	4.4%
育児休暇の制度がない	3.7%	3.9%	3.1%	2.4%	2.3%	2.7%
育児休暇はあるが、とりにくい	5.1%	5.9%	5.0%	3.5%	2.5%	2.4%
育児休暇終了後の復帰について不安がある	14.5%	7.0%	5.5%	3.6%	2.7%	1.6%
ベビーシッターを頼みにくい	3.7%	4.6%	3.2%	2.5%	1.9%	0.6%
家族の協力が得られない	6.2%	8.2%	8.2%	6.6%	4.6%	4.0%
育児についての相談相手がいない	7.1%	6.4%	4.5%	3.9%	4.1%	2.7%
自分の自由な時間が持てない	31.3%	33.4%	29.3%	22.7%	17.3%	11.3%
近所にママ友達がいない	19.6%	13.5%	7.2%	4.8%	2.3%	3.2%
これまで子どもに触れたことがない	5.0%	1.4%	0.7%	1.3%	0.5%	0.6%
子どもが好きではない・子どもが苦手	2.7%	2.3%	2.7%	2.1%	1.7%	1.1%
自分が親になることに対して漠然と不安	14.6%	8.7%	7.8%	6.6%	5.6%	3.5%
学校での教育環境に不安がある	12.1%	12.2%	15.4%	19.9%	17.4%	15.4%
いじめなど子ども同士の関係に不安がある	16.7%	17.7%	21.2%	23.1%	24.2%	14.9%
自分が虐待しそうで不安	3.9%	5.0%	4.6%	2.7%	1.9%	1.1%
その他	5.4%	6.7%	7.4%	8.0%	6.6%	9.0%
平均	11.2%	10.6%	9.6%	8.1%	6.3%	5.0%

- 子どもの年齢が上がるにつれ、不安なこと・困っていることの全体値は低くなる
- 1歳未満では、育児休暇中の方が多いため、復職後の生活に対しての不安が多い
- 3歳までは保育園しか預け先がないため、「保育園に入れない」が高い
- 子どもの年齢にかかわらず、いじめに関しては不安に思っている
- 子どもの年齢が上がると、フリーアンサーで高校・大学の学費補助に関する記入が増えてくる

不安なこと・困っていること_女性就業状況別上位15位



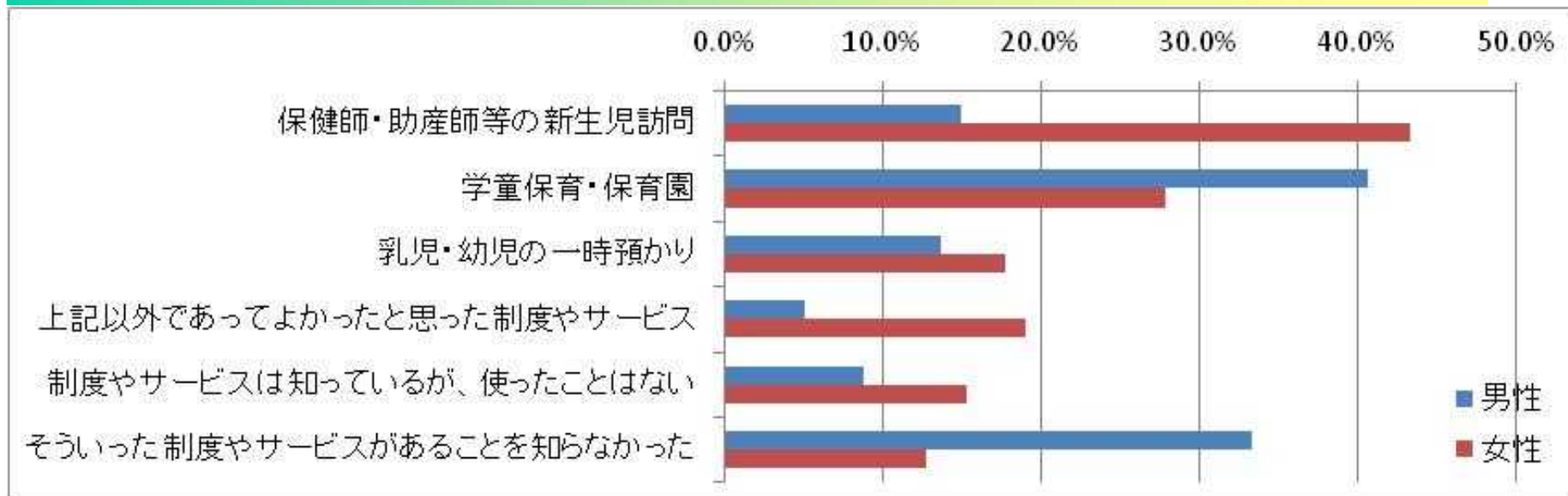
不安なこと・困っていること_女性就業状況別上位15位

	産休・育休中	就業中	専業主婦
育児にかかる費用が負担になる	34.1%	35.1%	37.6%
自分の自由な時間が持てない	26.5%	28.6%	30.5%
仕事との両立が難しい	44.1%	37.1%	12.9%
保育園に入れない・保育園が少ない	39.4%	19.6%	16.0%
出産にかかる費用が負担になる	16.2%	22.1%	19.1%
いじめなど子ども同士の関係に不安がある	14.9%	17.1%	20.3%
近所にママ友達がいない	22.8%	10.5%	18.8%
妊婦健診の費用が負担になる	11.9%	17.5%	17.4%
自分が親になることに対して漠然と不安がある	16.8%	13.6%	16.1%
学校での教育環境に不安がある	11.8%	14.4%	13.7%
出産するのが怖い	13.5%	13.6%	11.8%
育児休暇終了後の復帰について不安がある	44.0%	13.5%	2.4%
保育園に病児保育がない	17.7%	12.5%	5.6%
病児を預かってくれる施設がない	11.0%	13.0%	6.5%
家族の協力が得られない	6.6%	7.4%	8.6%

▶ 上位2位までは、就業形態にかかわらず数値が大きい

▶ 全般的に産休・育休中の数値が高く、「仕事との両立」「保育園に入れない」「復帰について」等、とくに育児休暇終了後についての不安が高い。

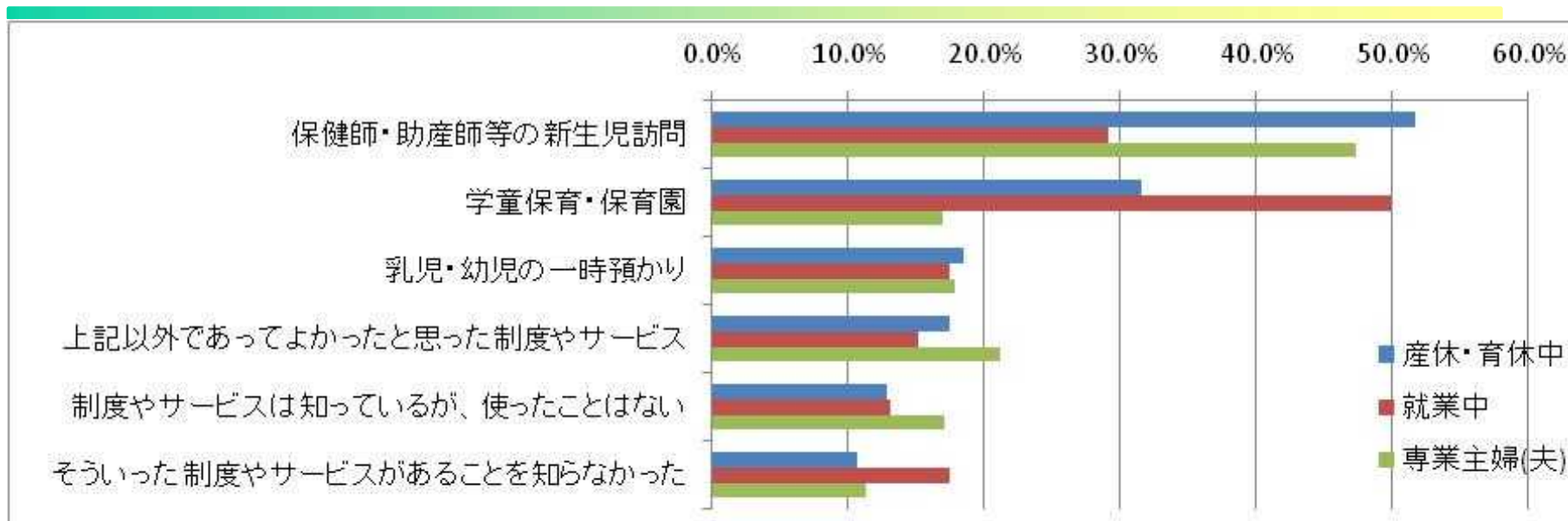
あってよかった制度や助かったサービス_男女別



	男性	女性	男女差
保健師・助産師等の新生児訪問	15.0%	43.3%	28.4%
学童保育・保育園	40.6%	27.9%	-12.8%
乳児・幼児の一時預かり	13.7%	17.8%	4.1%
上記以外であってよかったと思った制度やサービス	5.1%	19.0%	13.9%
制度やサービスは知っているが、使ったことはない	8.8%	15.4%	6.6%
そういった制度やサービスがあることを知らなかった	33.3%	12.8%	-20.5%

- ▶学童保育・保育園については、男女とも助かったと思っている
- ▶女性の4割以上が「新生児訪問」をよかった・助かったと回答しており、産後の不安な時期の母親の助けになっている
- ▶男性は、3割以上が「制度やサービスを知らなかった」と回答しており、保育園以外の育児に関する助成については興味が低いと考えられる

あってよかった制度や助かったサービス_女性就業状況別



	産休・育休中	就業中	専業主婦(夫)
保健師・助産師等の新生児訪問	51.6%	29.1%	47.3%
学童保育・保育園	31.6%	49.9%	16.9%
乳児・幼児の一時預かり	18.5%	17.4%	17.8%
上記以外であってよかったと思った制度やサービス	17.4%	15.2%	21.2%
制度やサービスは知っているが、使ったことはない	12.9%	13.1%	17.1%
そういった制度やサービスがあることを知らなかった	10.7%	17.4%	11.3%

- 産休・育休中の女性は「新生児訪問」5割「学童保育・保育園」3割、就業中の女性は逆転して「学童保育・保育園」5割、「新生児訪問」3割。いずれも有用な制度であり、女性の支えになっている
- 一時預かりについては、就業状況にかかわらず2割程度の回答にとどまっており、フリーアンサーからわかるのは使いにくい制度であること

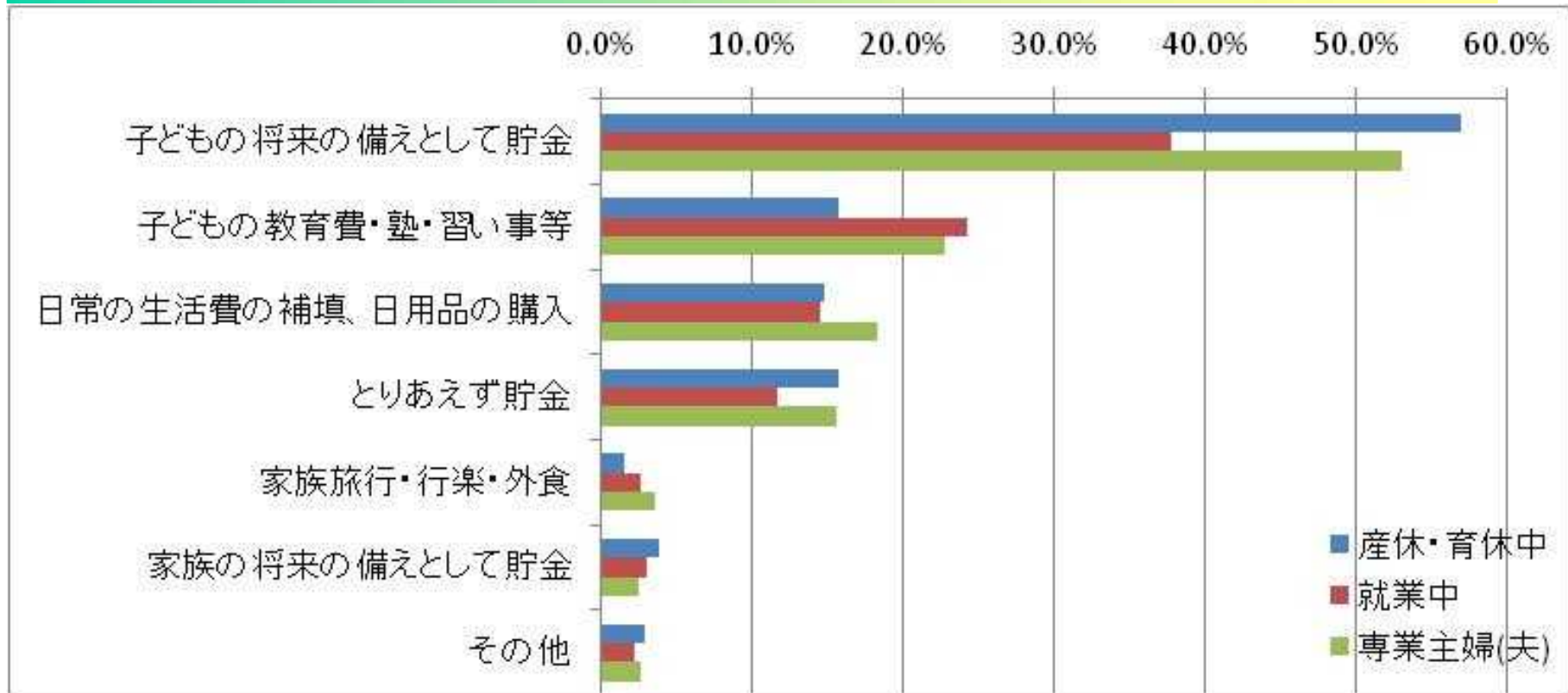
子ども手当の使い方_男女別



	男性	女性
子どもの教育費・塾・習い事等	36.8%	22.0%
子どもの将来の備えとして貯金	36.5%	49.8%
日常の生活費の補填、日用品の購入	21.5%	16.7%
とりあえず貯金	19.2%	14.6%
家族の将来の備えとして貯金	5.6%	2.8%
家族旅行・行楽・外食	3.6%	3.0%
その他	1.3%	2.5%

- 貯金の率が高い
- 男性の方が消費に回している率が高い
- その他の中で多いのは、
任意予防接種の費用・高額医療費
子どもの保険(学資保険・医療保険)

子ども手当の使い方_女性就業状況別



	産休・育休中	就業中	専業主婦
子どもの将来の備えとして貯金	57.0%	37.7%	53.1%
子どもの教育費・塾・習い事等	15.7%	24.2%	22.8%
日常の生活費の補填、日用品の購入	14.8%	14.6%	18.2%
とりあえず貯金	15.7%	11.7%	15.5%
家族旅行・行楽・外食	1.6%	2.6%	3.6%
家族の将来の備えとして貯金	3.8%	3.1%	2.5%
その他	2.8%	2.2%	2.6%

➤就業中の方は貯金の率が低く、教育費の率が高い。収入の格差が教育格差につながるという懸念も、あながち間違いではなさそうである

まとめ

- フリーアンサーで書き込みが多かった内容

- 医療費助成の期間延長(自治体間の格差是正)

- 教育費の軽減(学校だけで済むような教育のレベルアップ)

- 保育園・学童保育の充実

- 復職しやすく・子育てに理解のある職場環境

- 一時預かり・育児サークル等母親の精神的支援

- 安全な子どもの遊び場の確保

- まとめ

- 全体的に育児費用の軽減に関する要望が多い

- 働いている(働きたい)女性は、育児と仕事の両立に関する要望

- 専業主婦の方は、精神的な支援に関する要望

国・地域行政・企業・家庭内で問題解決に向けた検討が必要